

2020年3月6日

長崎県知事  
中村 法道 様

## 「新型コロナウイルス感染症対策」における 小中高校等の臨時休校などに関する緊急要請

連日の長崎県の発展に向けた取り組みに敬意を表します。

2月27日、安倍首相は、全国すべての小学校約2万校(約636万人)、中学約1万校(約321万人)、高等学校約4800校(約316万人)、特別支援学校約1100校(約14万人)などに、3月2日から春休みまでの期間、臨時休校とするよう要請する旨、表明されました。

この度の突然の表明を受け、子どもや保護者など、生活する者、働く者をはじめ、中小零細事業者など、日本全体に混乱が広がっており、長崎県においても例外ではありません。また、安倍首相は「国民生活や経済への影響が最小となるような法案を早急に準備する」とも発言されています。

これを受け連合本部は、政府に対し子どもや保護者の不安を解消するため、子どもの居場所づくりや保護者が安心して働ける環境整備、中小企業等への支援など、速やかな対応策の策定・実施、実効性に基づく柔軟な対応を、3月4日に緊急要請として行ったところです。

については、長崎県においても課題解決に向け早急な対応となるよう、国と連携し進めて頂きますよう要請いたします。

### 記

#### 1. 連合本部の政府への緊急要請について・・・別紙参照

(1) 国と連携し、長崎県としても早期解決に取り組んで頂きたい。

#### 2. 長崎県への追加要求について

##### (1) 子どもたちの命を守る取組み

- ①放課後児童クラブでの受入れが困難な児童に対しては、市町と連携し、日中の安全な居場所を確実に確保すること。
- ②放課後児童クラブは従来から限られた空間であり、子どもたちはの密度の高い生活を強いられている。学校と連携し、学校の空き教室の積極的な活用や教職員の放課後児童クラブに対する人的支援を速やかに実施すること。
- ③入試を控え指導を求める児童・生徒には、家庭訪問や電話等により適切な指導を講ずること。

- ④給食が停止したことで、昼食が必要な子どもたちに届くように市町と連携し必要な対策を講じること。

(2) 県民の命を守る取組み

- ①民間医療機関で PCR 検査体制を速やかに整備し、安全性を確保した適切な対策を講ずるために財政支援を国に求めること。
- ②感染拡大に備え、感染症指定医療機関の病床数の拡充を図るなど、早急に医療体制を構築すること。
- ③感染者が発生した場合に備え、搬送体制を整備すること。
- ④感染者や感染疑いがある方々の現状に鑑み、ダイヤモンドプリンセス号下船者等に対し、希望がある場合は検査を積極的に行うこと。
- ⑤休校に伴い発生した食材について、市町と連携してフードロス回避すべく適切な対策を講じること。

(3) 中小企業等に対する効果的な支援策の実施について

中小企業等については、働き改革関連法への対応や深刻な人手不足の中で懸命に努力している最中での、新型コロナウイルス感染症対策であり、事業存続の悩みを抱えながら悲鳴を上げている状況にある。

従いまして、中小企業等の実態把握を早急に行うとともに、国が検討している支援策の周知徹底に加え、長崎県として関係団体等と連携をはかり、相談窓口の拡充をはじめとする、中小地場企業を支える環境づくりを行うこと。なお、必要に応じ県独自の助成等を検討すること。

以 上

日本労働組合総連合会  
長 崎 県 連 合 会  
会 長 宮 崎 辰 弥

長 崎 県 議 会  
改 革 2 1 会 派  
代 表 山 口 初 實